

養成する人材（現代社会学部現代社会学科）

●学科の教育研究上の目的（学則第3条の2）

現代社会学科は、現代社会が求める幅広い基礎的教養と現代社会がもつ様々な側面を洞察し、的確な判断ができる専門的知識、ならびに現代社会を生き抜くために必要な課題発見・問題解決型能力と積極的な行動力をもった、現代社会に貢献できる人材の育成を教育目標とする。

●養成する人材像

（1）日本の経済社会や中部圏の発展を支える人材

民間企業やビジネスの世界で生きる社会的教養と経済社会に関する専門知識を身につけた人材

（2）社会的なものとかかわりのある企業・組織で活躍する人材

人とかかわり、地域の活性化や社会貢献など、より社会的な関心や行動が求められる仕事に関する専門知識を身につけた人材

（3）公共機関・公益法人・民間非営利団体などで活躍する人材

公共機関・公益法人・NPOなどで必要な基礎的教養と現代社会に関する専門知識を身につけた人材